



**クリスマス・マッチ・イン・葉山2014**  
**Christmas Match in Hayama 2014**

**2014年12月19日－12月21日**  
**19-21 Dec., 2014**

**レース公示 (ver. 1.0)**  
**NOTICE OF RACE (ver. 1.0)**

### 1 主催団体

本大会は日本ヨットマッチレース協会 (JYMA) が主催する。

本大会は以下の団体、企業の協力の下に行われる。  
ニッポン・セイル・トレーニング (NST) 葉山マリーナヨットクラブ「 (HMYC)

### 2 開催地

開催地は神奈川県葉山町である。

### 3 イベント・グレーディング

本大会はISAFグレード4として申請している。  
このグレーディングはISAF Match Race Rankings Sub Committeeによる再検討の課題となる。明確な理由がある場合、本大会のグレードは変更されることがある。  
また、本大会はJYMAイベントグレード係数1.5の大会である。

### 4 予定プログラム

#### 4.1 毎日の予定

12月19日(金) 練習および準備日

09:00-11:45 練習時間

練習希望チームは事前に実行委員長宛に連絡すること。また、練習艇のチャーター予約は各自 NST に行い、チャーター費用他を負担しなければならない。天候によっては実行委員会が中止勧告をすることができる。

12:00 準備要員集合 (準備要員に関しては17項を参照)

集合場所: 葉山マリーナ・キャプテンズルーム前テラス

実行委員の指示のもと、レース艇その他のレース準備および希望者の体重測定を行う (体重測定の時間は実行委員の指示によるものとする)。

16:00 解散

12月20日(土)

08:00-08:30 受付/体重測定 葉山新港 管理事務所

08:30-09:00 艇長会議/アンパイア・ブリーフィング

09:40 レース艇ドックアウト

10:10 最初のマッチの注意信号発令

17:00-17:30 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング

18:30-21:00 クリスマス・パーティー 一人4,000円

12月21日(日)

07:30-08:00 艇長会議 葉山新港 管理事務所

08:20 レース艇ドックアウト

09:00 最初のマッチの注意信号発令

16:00-16:30 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング

16:30-17:00 表彰式

17:00 レース本部解散



|   |
|---|
| <p>4.2 OIにより許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) スキッパーは最初の艇長会議とアンパイア・ブリーフィング。</li><li>(b) スキッパーは毎日のブリーフィング。</li><li>(c) スキッパーとクルーはオフィシャル・パーティ。</li><li>(d) ファイナルに進んだスキッパーとクルーは、表彰式。</li></ul>   |
| <p>4.3 天候等の事情により4.1の日程で大会が開催できなかった場合、本大会は中止される。中止の告知は以下のように行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) 12月19日までに中止が決定された場合：参加スキッパー宛に個々に通知されるとともにJYMAホームページ上に中止の旨を告知する。</li><li>(b) 12月20日以降に中止が決定された場合：可能な通知手段により個々のスキッパーへ通知される。</li></ul>  |
| <p><b>5. スキッパーの参加資格</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) 10名のスキッパーが招待される。OIにより招待されたスキッパーのみが本大会に参加する資格がある。招待基準は以下の通りである。<ul style="list-style-type: none"><li>・11月1日時点のJYMAランキングで上位からのスキッパー6名。</li><li>・NST MR最終戦で上位からのスキッパー1名。</li><li>・HMYCが推薦する2名のスキッパー。</li><li>・インヴィテーション・リクエストを提出したスキッパーから、JYMA会長が推薦する1名のスキッパー。</li></ul></li><li>(b) 登録されたスキッパーは非常の場合を除き、レース中は常に艇の舵を持っていなければならない。</li><li>(c) 参加資格を留保するために、スキッパーは招待の受け入れを書面によって(faxもしくはeメールも可)、招待状に記載された期日までに確認(返信)をしなければならない。また、指定された期日までに参加料を支払わなければならない。</li><li>(d) すべての競技者は、有効な2014年度JSAF会員でなければならない。</li><li>(e) 外国籍のスキッパーおよびクルーは、自国籍の有効なナショナル・オーソリティの資格を有する場合、(d)の資格を免除する。また、(g)(h)の資格を免除することもある。</li><li>(f) すべてのスキッパーは、ISAFセイラーIDを取得しなければならない。これは<a href="http://www.sailing.org/isafsailor">www.sailing.org/isafsailor</a> から無料でオンライン登録できる。スキッパーは受付のときにISAFセイラーIDをOIに示さなければならない。</li><li>(g) すべてのスキッパーは2014年度JYMAスキッパー会員もしくはユース会員でなければならない。</li><li>(h) すべてのクルーは2014年度スキッパー会員、クルー会員もしくはユース会員でなければならない。</li></ul> |
| <p><b>6. 参加</b></p> <p>6.1 スキッパーは、受付登録、体重測定、すべての費用とデポジットの支払を完了することにより本大会に参加する。</p>  |
| <p>6.2 参加料/パーティ費</p> <p>参加料<b>7万5千円</b>は、招待状に指定された銀行口座に、<b>12月5日までに</b>振込まなければならない。<br/>パーティ費用は<b>1名4千円</b>である。予定されているクルー人数のパーティ費は参加料とともに振り込まなければならない。ただしパーティ当日の飛び入り参加も歓迎(ご家族、友人も招待してください)。その場合は当日会場での支払も可能。<br/>振込先 <b>三菱東京UFJ銀行 南藤沢支店(732) 普通 0023391 名義 日本ヨットマッチレース協会</b></p>  |
| <p>6.3 ダメージ・デポジット</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) 本大会に使用されるレース艇の艇体保険免責額は50万円である。</li><li>(b) 最初のダメージ・デポジット<b>2万円</b>は参加料とともに支払わなければならない。このデポジット額は、1事故の結果、スキッパーが支払わなければならない最大額<b>ではない</b>。ただし、本NOR、もしくはSIIにて別段の定めがある場合はその規定が優先するものとする。</li><li>(c) OIの決定によりダメージ・デポジットから差引が行われた場合、ダメージ・デポジットが元の金額まで充当回復されなければ、スキッパーはレースを続けることを許されないことがある。</li><li>(d) ダメージ・デポジットが充当されるダメージ、およびその他の損害賠償については16項によるものとする。</li><li>(e) ダメージ・デポジットの残額は、遅くとも大会終了後3週間以内に返却される。</li></ul>  |
| <p>6.4 本大会が中止された場合の参加料/ダメージ・デポジットの取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) 12月19日までに大会が中止された場合：参加料の少なくとも90%、ダメージ・デポジットの全額が返還される。すでに支</li></ul>  |



払われたパーティ費は全額返還される。

- (b) 12月20日に大会が中止された場合:参加料の少なくとも50%、ダメージ・デポジットの全額が返還される。
- (c) 12月21日以降に大会が中止された場合:参加料は返還されない。ダメージ・デポジットは全額が返還される。パーティも中止された場合、すでに支払われたパーティ費は返還されない。

#### 7. ルール

- (a) 本大会はRRSに定義されたルールによって行われる。これにはアベンディックスCも含まれる。
- (b) ハンドリング・オブ・ボートのルールも適用される。これはすべての練習中にも適用される。クラス・ルールは適用しない。
- (c) ナショナル・オーソリティ規定は適用しない。

#### 8. ボートとセイル

- (a) 本大会はヤマハ30 Sクラス艇で行われる。
- (b) 6艇のボートが用意される。
- (c) 以下のセイルが各艇に支給される。メインセイル、ジブ、スピネーカー。
- (d) ボートはレース委員会の判断により毎日もしくはステージごとに、抽選によって割り当てられる。

#### 9. 乗員(スキッパーを含む)

- (a) 1チームの登録できる乗員の人数は8名である。(c)の制限体重以内であれば乗員は交代することができる。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくともいけない。
- (b) クルーを交代する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得なければならない。また、クルーの交代のために要する時間はスタート時刻延期の要望対象とはならない。
- (c) 乗員の合計体重は350kg以内でなければならない。計測は最低限シャツとショーツを着用した状態で行われる。
- (d) 登録されたスキッパーが大会を継続することができなくなったとき、実行委員会はオリジナル・クルーメンバーから交代を認めることができる。
- (e) 登録されたクルーが大会を継続することができなくなったとき、実行委員会は交代選手、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。

#### 10. イベント・フォーマット

詳細は12月20日の最初の艇長会議までに発表される。

#### 11. コース

- (a) コースはスターボード回航の風上/風下で、ダウンウインド・フィニッシュである。
- (b) コース海面は葉山マリーナの沖合いに設定される。

#### 12. 広告

- (a) ボートと装備が主催者によって提供されるので、ISAFレギュレーション20.3.2が適用される。各ボートは主催者によって支給される広告を表示することが求められることがある。
- (b) 競技者は開催地の陸上では個人広告を表示することが許されることがあるが、これはOAとの個別交渉による。
- (c) 広告に関するルール違反は、艇による抗議の対象とはならない(RRS60.1の変更)。

#### 13. 賞

- (a) 1位のチームにはJYMA賞が贈られる。
- (b) OAは、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。

#### 14. メディア、映像および音響

OAはTVクルーとその装備(またはダミー)を、レース中搭載することを求めることができる。また競技者にインタビューに応じることを求めることができる。OAは大会期間中に採集されたすべての映像、音響を無償で使用する権利を有する。



## 15. 請求の否認、ライフジャケットの着用

- 15.1 大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。OA、その提携者およびOAより任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。
- 15.2 OAは海上においてライフジャケットの着用を強く推奨するが、RCの指示がある場合を除いて、ライフジャケットを着用するかしないかの判断は各艇によるものとする。また、主催者はライフジャケットを準備しない。各自持参すること。

## 16. 行動基準とダメージの取り扱い基準

### 16.1 行動基準

- (a) 競技者は、運営の補助、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力を含む、競技役員からのリーズナブルな要求に従わなければならない。また大会の名誉を傷つけるような行動をしてはならない。
- (b) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SIアペンディックスCとDに従わなければならない。
- (d) このSIIに対する違反のペナルティは、PCの裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除、賞金の回収、保証金の保留を含めることができる。

### 16.2 ダメージの取り扱い基準

16.2.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかんに関わらず当該艇の責任とし、その損失はダメージ・デポジットより差し引かれる。

- (a) ウンチハンドル: 10,500円/1本  
(b) 抗議旗(Y旗): 5,000円/1本  
(c) 識別旗、B旗、損傷旗: 各3,000円/1枚

16.2.2 今回使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は500,000円である。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある。

16.2.3 帆走指示書アペンディックスC(ハンドリング・オブ・ボーツ)に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。当事者の負担である。

16.2.4 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする(ダメージ・デポジットから優先して差し引かれる)。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合OAはPCのアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。

- (a) 権利艇・非権利艇が特定できる場合  
権利艇2 非権利艇8
- (b) 権利艇・非権利艇が特定できない場合  
当事者間で均等割りとする

16.2.5 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後30分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ・レポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。

16.2.6 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

## 17. 選手のその他の義務

- (a) 各チームは最低1名の準備要員を12月19日の準備日に抛出しなければならない(12月19日12時葉山マリーナ集合)。不可能な場合は代替要員の確保のために5,000円を支払う必要がある。準備要員派遣の可否については12月17日までに実行委員長へ連絡し、その指示に従うこと。
- (b) すべての競技者は、自分たちのレースがないときには、実行委員会やレース委員会の指示の下、レース運営の補助をしなければならない。

## 18. 招待

本大会へはOAから招待されたスキッパーのみが参加することができる。招待を希望するスキッパーは11月14日(金)までに、添付のインヴィテーション・リクエスト・フォームに必要事項を記載して、次項のメールアドレスまでeメールにて申し込むこと。

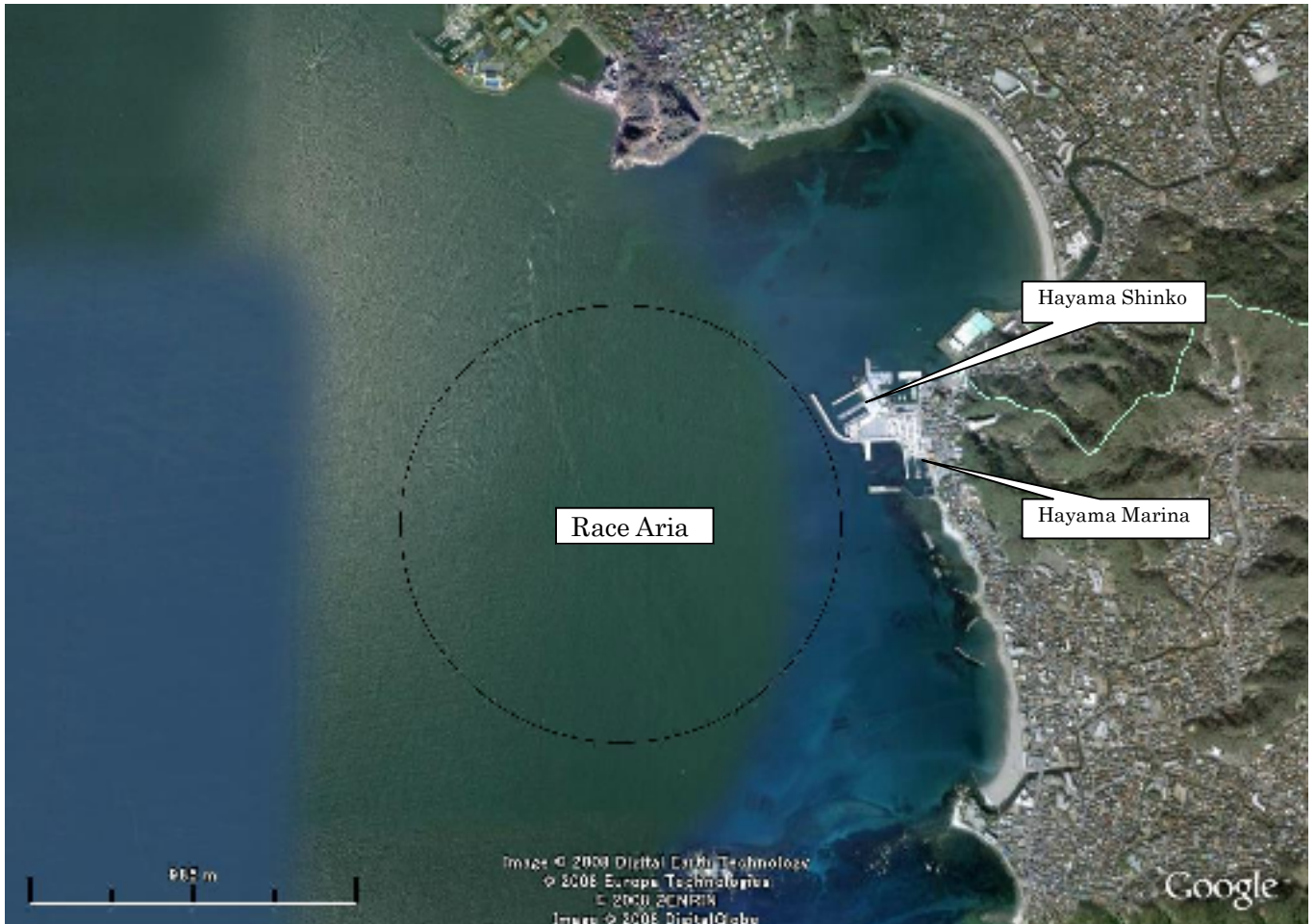
## 19. 問合せ他 (実行委員)

村越俊介 Eメール: [shunsuke.murakoshi@starboard-jr.co.jp](mailto:shunsuke.murakoshi@starboard-jr.co.jp)  
今津浩平 Eメール: [BYR02410@nifty.com](mailto:BYR02410@nifty.com)

## インフォメーション

(1)帆走指示書は遅くとも2014年12月12日までにホームページに公示される。

(2)レース海面(下図参照)



(3)招待の申し込み

NoR 5(a)の通り、本大会には10名のスキッパーが招待される。会長推薦枠での招待を希望するスキッパーは、添付のインヴィテーション・リクエスト・フォームに必要事項を記載の上、11月14日までに、NoR 19に記載された実行委員宛にメールに添付して申し込んでください。

(4)未成年者の参加

本大会へ参加する未成年者(2014年12月19日時点で満20歳に満たない者)は、添付の保護者同意書に必要事項を記載の上、大会受付時(12月20日)に提出してください。



## 保護者同意書

クリスマス・マッチ・イン・葉山 2014 大会実行委員会 御中

私は、私の被保護者である下記の者が、2014年12月19～21日の間に行われる本大会に参加することを承認するとともに、被保護者の負うべき責任を連帯して負います。また、故意または重大な過失によるものを除き、大会期間中に生じた被保護者の損害・損傷について、実行委員会および実行委員会の委嘱した役員への損害賠償要求をいたしません。

被保護者氏名：

被保護者生年月日・年齢：            年            月            日生まれ            満            歳

2014年            月            日

保護者住所：

保護者氏名：

印